

かがやきクラブのメンバーが よこはま看護専門学校の学生と楽しく交流しました

昨年10月24日(木)、秋晴れの空の下、あきにれ公園で県立よこはま看護専門学校の学生8名とNTかがやきクラブのメンバー21名が、高齢者に人気のスポーツ、モルック競技と輪投げを楽しみました。

この交流会は、11のグループに別れた1年生を、旭区内で活動している11の老人クラブが受け入れ、メンバーとのコミュニケーションを通して高齢者の生活を知ることとを目的とした「健康な高齢者の生活」体験学習の一環として行われました。学校の授業では「地域・在宅看護概論」を受講していて、地域に暮らす人を理解して、そ

の人の暮らしを支える看護を学んでいます。

モルック競技と輪投げを終えた後は、連合町内会館に戻り参加者全員で懇談会を行いました。高齢者の多くのメンバーからは、若い人を交えてのスポーツは高齢者にとって特別な時間のように感じ、とても楽しく、これからも続けてほしいと好評でした。参加した学生さんからは「高齢者という言葉のイメージが変わった」「健康に過ごされている要因が生活の一端にあることがわかった」との感想がありました。この体験学習を通して学生さんたちが一段と成長されることを願っています。



あきにれ公園で、一緒にモルック競技や輪投げを楽しみました

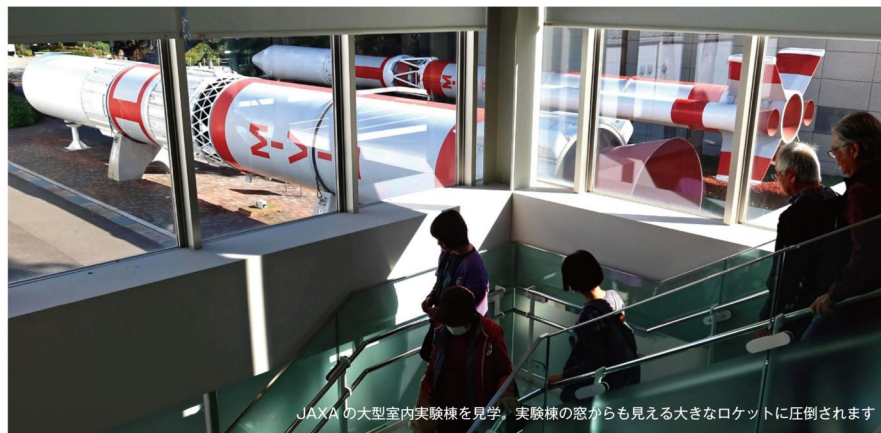


モルック競技は、ピンを倒して点を競います



学生さんたちと参加したメンバーで記念撮影

社協バス旅行は相模原JAXAや高尾山へ



JAXAの大型室内実験棟を見学。実験棟の窓からも見える大きなロケットに圧倒されます

昨年11月29日(金)に社協主催の日帰りバス旅行が実施されました。当日はお天気が良く、旅行日中で47名が参加しました。行先は、①相模川ふれあい科学館アクアリウムさがみはら(淡水魚水族館) ②農産物直売店 ③JAXA相模原キャンパス(宇宙科学研究所) ④八王子料亭なか安(昼食) ⑤高尾山です。

アクアリウムさがみはらには多くの淡水魚が大小さまざまな水槽の中で泳いでいて、生きているイワナやヤマベを間近でじっくりと観察できました。

JAXA相模原キャンパスでは、敷地に入ってまず驚くのが中庭に展示されている2機のロケットです。巨大なロケットが、ここが宇宙科学研究所であることを象徴していました。展示室では宇宙探査機「はやぶさ」が小惑星イトカワから持ち帰った小さな欠片(0.06mm)が、顕微鏡で観察できるようになっていました。実験棟には惑星の地表を模擬した大きな砂場の部屋があり、この砂場を使って惑星地表で稼働する探査ロボットのテストをしているとのことでした。

昼食は八王子の料亭なか安です。料亭で提供されるお食事はやはり立派ですね。堪能しました。旅最後の高尾山は、ケーブルカーを利用したので高齢者にも優しく、ウォーキングがてら紅葉を楽しみました。お天気にも恵まれ、素敵なバス旅行でした。



八王子の料亭なか安で昼食。豪華なランチでした



高尾山のケーブルカー乗り場。紅葉がきれいです

<編集後記>2年ほど前から、近隣にある県立よこはま看護専門学校とニュータウン地区かがやきクラブとの交流が始まりました。看護専門学校では毎年7月に「やまゆり祭」を開催しているので、そこにかがやきクラブのメンバーが「ボッチャ競技」「着付け教室」にお手伝いで参加しています。一方、ニュータウン地区では毎年6月に社協主催の「福祉まつり」があり、そこに学生20数名が参加して「ロコモダンス教室」運営や模擬店のスタッフとしてお手伝いいただきました。2月8日(土)に旭公会堂で開催された「きらっとあさひ福祉大会」での交流活動を「学生と地域の交流から」として出陣社協会長が発表しました。

◆発行責任者 / 連合町内会 会長 山内良夫 社会福祉協議会 会長 出井善次
◆編集委員 / 阿久井直美 宮崎均 小菅昭 福本瑠美子 小川美枝子 石村保子
正田香 小野寺慎一郎

二俣川ニュータウン地区ホームページ
連合町内会: <https://www.futamatagawa-newtown.com>
社会福祉協議会: <https://fnt-shakyo.sakura.ne.jp/>



【社協福祉講演会】

安部院長から 感染症のお話を お聴きしました



昨年11月16日(土)に、ニュータウン地区にある安部医院の安部重蔵院長を講師にお迎えして、感染症に関する講演会が開催されました。2020年から流行した新型コロナウイルスはようやく沈静化しましたが、改めて感染症の予防対策などを含め講話をお願いしました。

「感染症を引き起こす病原体には細菌とウイルスがありますが、今回流行した新型コロナウイルスによる感染症です。ウイルスに対する最大の予防策は隔離です。しかし、完全な隔離は現代社会では非常に困難です。このため、第一にワクチンが存在する場合はワクチン接種を行い、また出会いを減らす「三密回避」や「マスク」「うがい」「石鹸を使った手洗い」なども有効です」

「インフルエンザウイルスやコロナウイルスは、エンベロープといわれる脂質の膜を持っており、石鹸などの界



安部院長の講話を43名の住民が聴講しました

面活性剤によりその膜が破壊されそれにより不活化されます。エンベロープを持たないノロウイルスなどは、界面活性剤では不活化されませんので、石鹸などによる手洗いはウイルスの数を減らすことが主な目的となります。感染症が流行した時、ワクチンが存在する場合は早めのワクチンの接種が有効です。また、高齢者にとって大切なご自身の免疫機能を維持していくためには、規則正しい生活と、美味しいものを食べて、適度な運動をして、日々健康に過ごすことです」

皆さまも、健康に留意しお身体を大切に！お過ごしください。そして、日々地域医療にご貢献いただいで大変お忙しいところ、快く講演をご承諾いただいた安部重蔵院長に感謝申し上げます。

寄稿

かがやきクラブの会員を 講師にお迎えし、授業を行いました



神奈川県立よこはま看護専門学校

令和6年11月12日に神奈川県立よこはま看護専門学校の1年生の授業「老年看護学概論・高齢者とのコミュニケーション」において、二俣川NTTかがやきクラブ連合会から6名の方に講師として来ていただきました。看護師を目指す上でコミュニケーションの力はとても重要です。この授業は、2年前から二俣川ニュータウンにお住いの高齢者の方にご協力をいただき進めているものです。お越しいただいた6名の方は、ご自身の人生を振り返りながらこれまでの経験について活き活きとお話をしてくださいました。学生達は、講師の方々の生きてこられた過程や価値観を理解すること、長い人生経験がある方へ尊敬の念をもって寄り添った関わりをするのが大切であること等を学び、大変有意義な授業となりました。地域の方々と交流が、看護師として成長する上で大きな力になります。授業にご参加いただいた二俣川NTTかがやきクラブ連合会の皆様、ありがとうございました。



最初に、講師役のかがやきクラブ6名のご紹介です

講師から人生経験談を聞き、
しっかりとメモを取っています



新川農園のご協力を得て、「芋ほり大会」を実施しました

昨年10月27日(日)に、町内会・子ども会主催、連合町内会支援による「さつまいも掘り」が実施されました。場所は今宿南町の新川さんの畑です。当日は天気心配され、途中雨はパラつきましたが、なんとか実施できました。

この「さつまいも掘り」は昨年に引き続き2回目の実施です。新川さんの畑まで遠い町内会・子ども会もあるのでマイクロバスにて近くまで送迎。町内会・子ども会ごとに時間を分けて行いました。総勢200名以上とたくさん子どもたちが参加し「さつまいも掘り」を楽しみました。

今年は猛暑の影響か、さつまいもが深いところまで実り、掘るのが大変だったようですが、付添いの保護者の方も子どもたちと一緒に真剣にさつまいも掘りを楽しみました。



大人も子どもも一緒になって土に触れ、大いに楽しみました



大きく育った
ニンシンの
収穫です

さまざまなお
新鮮野菜を
販売しています

2024年度 赤い羽根共同募金の 活動に参加しました



赤い羽根共同募金活動は、社会福祉法に基づき、地域福祉の推進のために実施されています。2024年度のテーマは「じぶんの町を良くするしくみ」です。地域の多様な課題解決のために役立てられています。各都道府県共同募金会が主体となり昨年10月1日から全国で一斉に募金活動が始まりました。ニュータウン地区では福祉活動に関わる関係者(社協、民生委員、福祉協力員、各ボランティア団体、ジュニアボランティアの児童)が10月1日(火)に、二俣川駅の北口連絡通路で募金活動(10:00~17:00)を実施しました。当日、皆さまから63,019円の寄付をいただきました。

全国で寄付いただいたお金は、7割が各地域の福祉活動(社協、福祉施設、ボランティア団体等)の助成金として、残り3割が広域の福祉活動(災害時の支援活動等)に分配されます。寄付していただいた皆さま、ありがとうございました。



地域住民が1時間交替で、活動に参加しました



通りかかった皆さまから多くの寄付をいただきました